

トランコムグループ 決算説明会

2019年3月期

証券コード：9058

トランコム株式会社

2019.4.26

目 次

1	2019年3月期 総括	P.3
2	2020年3月期 計画	P.12
3	財政状況及び還元方針	P.15
4	次期中期計画に向けて事業の方向性	P.18

1	2019年3月期 総括	P.3
2	2020年3月期 計画	P.12
3	財政状況及び還元方針	P.15
4	次期中期計画に向けて事業の方向性	P.18

2019年3月期総括

● 全社 営業体制強化、顧客への物流改革提案による新規業務獲得
 新たなサービス・事業構想の模索、実行に向けた動き加速

● 物情 物流情報サービス事業 空車不足感 続く

➤ 上半期、災害等の影響により、空車情報数が前年比大幅に減少

● ICT コアパートナーとの協業により、事業への取り込み 加速

➤ パートナー向け業務支援サービス  みんなのコンピス 開始

◆ (株)丸和運輸機関との資本・業務提携

➤ 両社の経営資源を提供し合うことで、高いシナジー効果が見込まれることから
 事業ごとの取り組みを検討

2019年3月期業績

前年比

新規業務の稼働、物流情報サービス事業の伸長により増収増益

(単位：百万円)

	2018年3月期			2019年3月期				計画			
	上半期	下半期	通期	上半期	前期比	下半期	前期比	通期	前期比	通期見通し	計画比
売上高	69,411	72,317	141,728	73,345	5.7%	77,766	7.5%	151,111	6.6%	149,350	1.2%
営業利益 (売上高比)	2,520 (3.6%)	3,424 (4.7%)	5,944 (4.2%)	2,983 (4.1%)	18.4% (+0.5P)	3,750 (4.8%)	9.5% (+0.1P)	6,733 (4.5%)	13.3% (+0.3P)	6,500 (4.4%)	3.6% (+0.1P)
経常利益 (売上高比)	2,494 (3.6%)	3,414 (4.7%)	5,909 (4.2%)	2,978 (4.1%)	19.4% (+0.5P)	3,673 (4.7%)	7.6% (+0.0P)	6,651 (4.4%)	12.6% (+0.2P)	6,450 (4.3%)	3.1% (+0.1P)
親会社株主に帰属 する当期純利益 (売上高比)	1,500 (2.2%)	2,122 (2.9%)	3,622 (2.6%)	2,001 (2.7%)	33.4% (+0.5P)	2,327 (3.0%)	9.7% (+0.1P)	4,328 (2.9%)	19.5% (+0.3P)	4,340 (2.9%)	-0.3% (+0.0P)

事業セグメント別業績

(単位：百万円)

		2018年3月期			2019年3月期				計画			
		上半期	下半期	通期	上半期	前期比	下半期	前期比	通期	前期比	通期見通し	計画比
ロジスティクス マネジメント事業	売上高	22,973	24,189	47,162	24,893	8.4%	26,224	8.4%	51,118	8.4%	50,220	1.8%
	営業利益 (売上高比)	1,240 (5.4%)	1,624 (6.7%)	2,865 (6.1%)	1,334 (5.4%)	7.5% (+0.0P)	1,699 (6.5%)	4.6% (-0.2P)	3,033 (5.9%)	5.9% (-0.2P)	2,990 (6.0%)	1.5% (-0.1P)
物流情報 サービス事業	売上高	38,568	39,467	78,036	40,493	5.0%	43,257	9.6%	83,750	7.3%	82,680	1.3%
	営業利益 (売上高比)	1,477 (3.8%)	1,630 (4.1%)	3,108 (4.0%)	1,530 (3.8%)	3.6% (+0.0P)	1,781 (4.1%)	9.3% (+0.0P)	3,312 (4.0%)	6.6% (+0.0P)	3,270 (4.0%)	1.3% (+0.0P)
インダストリアル サポート事業	売上高	4,165	4,055	8,221	3,767	-9.6%	3,920	-3.3%	7,687	-6.5%	7,920	-2.9%
	営業利益 (売上高比)	39 (1.0%)	43 (1.1%)	83 (1.0%)	-3 (-0.1%)	- (-1.1P)	145 (3.7%)	234.3% (+2.6P)	141 (1.8%)	70.0% (+0.8P)	80 (1.0%)	77.0% (+0.8P)
その他	売上高	4,452	5,419	9,872	4,781	7.4%	5,124	-5.4%	9,906	0.3%	9,810	1.0%
	営業利益 (売上高比)	-142 (-3.2%)	231 (4.3%)	89 (0.9%)	179 (3.7%)	- (+6.9P)	209 (4.1%)	-9.5% (-0.2P)	388 (3.9%)	334.8% (+3.0P)	290 (3.0%)	33.9% (+0.9P)
連結消去	売上高	-748	-815	-1,563	-590	-	-759	-	-1,350	-	-1,280	-
	営業利益 (売上高比)	-96 (-)	-105 (-)	-201 (-)	-57 (-)	- (-)	-84 (-)	- (-)	-141 (-)	- (-)	-130 (-)	- (-)
連結合計	売上高	69,411	72,317	141,728	73,345	5.7%	77,766	7.5%	151,111	6.6%	149,350	1.2%
	営業利益 (売上高比)	2,520 (3.6%)	3,424 (4.7%)	5,944 (4.2%)	2,983 (4.1%)	18.4% (+0.5P)	3,750 (4.8%)	9.5% (+0.1P)	6,733 (4.5%)	13.3% (+0.3P)	6,500 (4.4%)	3.6% (+0.1P)

ロジスティクスマネジメント事業



	2018年3月期			2019年3月期					
	上半期	下半期	通期	上半期	前期比	下半期	前期比	通期	前期比
売上高	22,973	24,189	47,162	24,893	8.4%	26,224	8.4%	51,118	8.4%
営業利益 (売上高比)	1,240 (5.4%)	1,624 (6.7%)	2,865 (6.1%)	1,334 (5.4%)	7.5% (+0.0P)	1,699 (6.5%)	4.6% (-0.2P)	3,033 (5.9%)	5.9% (-0.2P)

取り組み

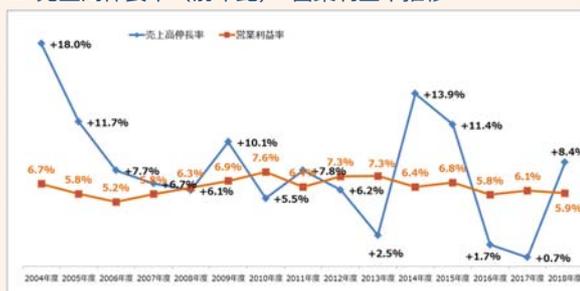
- ✓ 新規拠点・業務の稼動による日雑・菓子カテゴリの拡充
- ✓ 新規大型案件獲得と、稼動に向けた準備
- ✓ 料金適正化による収益改善

業績



- ・ 新規稼動拠点の寄与
- ・ 既存拠点の物量増
- ・ 前期稼動業務の収益化
- ・ 上半期、立ち上げ業務の初期費用増

■ 売上高伸長率（前年比）・営業利益率推移



物流情報サービス事業



	2018年3月期			2019年3月期					
	上半期	下半期	通期	上半期	前期比	下半期	前期比	通期	前期比
売上高	38,568	39,467	78,036	40,493	5.0%	43,257	9.6%	83,750	7.3%
営業利益 (売上高比)	1,477 (3.8%)	1,630 (4.1%)	3,108 (4.0%)	1,530 (3.8%)	3.6% (+0.0P)	1,781 (4.1%)	9.3% (+0.0P)	3,312 (4.0%)	6.6% (+0.0P)

取り組み

- ✓ 全国35拠点のネットワークへ、カバーエリアの強化
 - 〈新規〉神戸（2018年4月）、北海道・北大阪（2019年3月）
 - 人員数（生産性人員）
2018年3月末 2019年3月末
(540名 → 584名 +44名)
- ✓ パートナーとの関係強化促進
 - パートナーフォーラム 7都市開催
2018年3月末 2019年3月末
 - 専属車両数 (1,226台/日 → 1,475台/日 +249台/日)
 - 支援サービスの充実
配車支援システム みんほのコンパス
トラックリース トラックドライバー専用採用サイト IS トラはた

業績

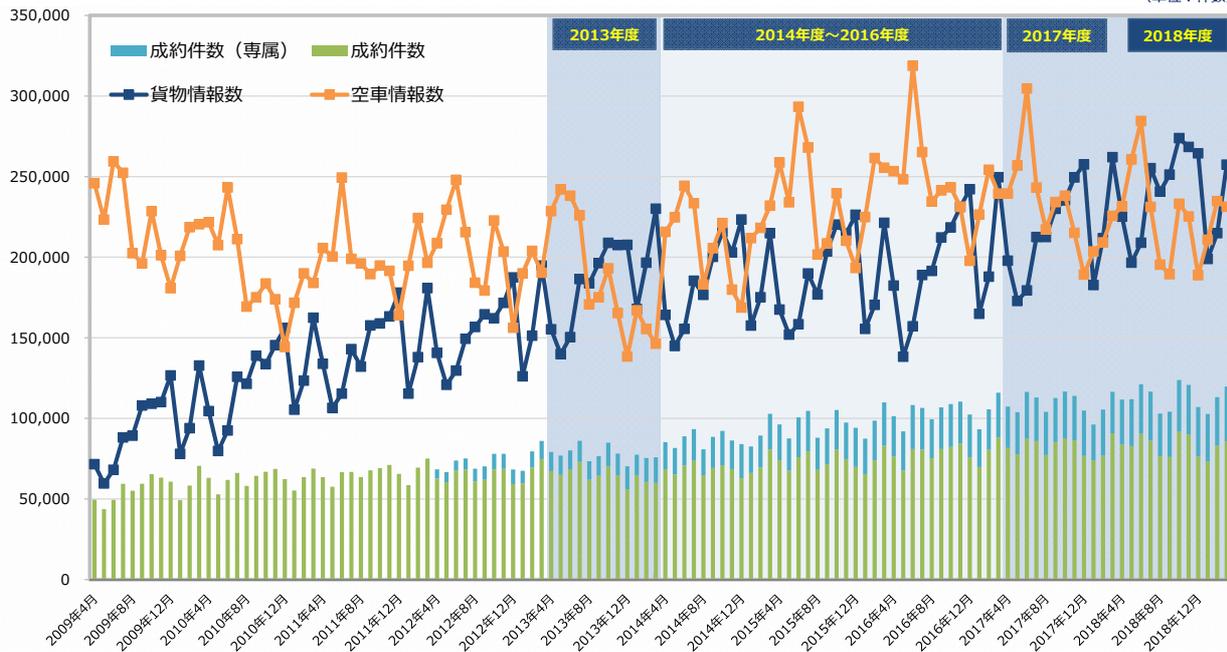


- ・ 成約件数増加 (2017年度 131万台 → 2018年度 135万台 前期比 3.4%増)
- ・ 運賃単価上昇

物流情報サービス事業

■ 情報数の推移 (2009年4月-2019年3月)

(単位: 件数)



貨物情報	上期: 前期比 14.3% ↑	空車情報	上期: 前期比 6.9% ↓	成約件数	上期: 前期比 1.6% ↑
	下期: 前期比 5.7% ↑		下期: 前期比 3.4% ↑		下期: 前期比 5.2% ↑

インダストリアルサポート事業

(単位: 百万円)

	2018年3月期			2019年3月期					
	上半期	下半期	通期	上半期	前期比	下半期	前期比	通期	前期比
売上高	4,165	4,055	8,221	3,767	-9.6%	3,920	-3.3%	7,687	-6.5%
営業利益 (売上高比)	39 (1.0%)	43 (1.1%)	83 (1.0%)	-3 (-0.1%)	- (-1.1P)	145 (3.7%)	234.3% (+2.6P)	141 (1.8%)	70.0% (+0.8P)

取り組み

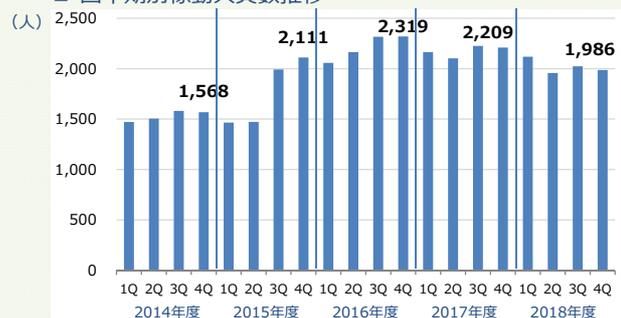
- ✓ 事業運営の適正化、粗利率の改善
- ✓ 採用管理システムによる採用の効率化
- ✓ IS事業の既存顧客を切り口とした3PL業務の獲得

業績



- (国内)
 - ・顧客の生産減による売上・利益減
- (海外)
 - ・中国業務撤退による減収

■ 四半期別稼働人員数推移



(単位：百万円)

	2018年3月期			2019年3月期					
	上半期	下半期	通期	上半期	前期比	下半期	前期比	通期	前期比
売上高	4,452	5,419	9,872	4,781	7.4%	5,124	-5.4%	9,906	0.3%
営業利益 (売上高比)	-142 (-3.2%)	231 (4.3%)	89 (0.9%)	179 (3.7%)	- (+6.9P)	209 (4.1%)	-9.5% (-0.2P)	388 (3.9%)	334.8% (+3.0P)

取り組み

- ✓ (海外) 国内の業容拡大に向けた関係強化
- ✓ (システム) ICTをコア事業の武器とすべく、システム部門の体制強化

業績



【売上高】 (海外)

- ・ 物流業務 通期寄与
- ・ 幹線輸送の伸長

【営業利益】 (海外)

- ・ 初期費用の解消
- ・ 幹線輸送の伸長
(システム)
- ・ システム部門の体制強化

1	2019年3月期 総括	P.3
2	2020年3月期 計画	P.12
3	財政状況及び還元方針	P.15
4	次期中期計画に向けて事業の方向性	P.18

2020年3月期 通期計画

前年比 物流情報サービス事業の伸長、新事業の寄与により増収増益

(単位：百万円)

	2019年3月期			2020年3月期(予想)					
	上半期	下半期	通期	上半期	前期比	下半期	前期比	通期	前期比
売上高	73,345	77,766	151,111	76,690	4.6%	82,160	5.6%	158,850	5.1%
営業利益	2,983	3,750	6,733	3,080	3.2%	4,190	11.7%	7,270	8.0%
(売上高比)	(4.1%)	(4.8%)	(4.5%)	(4.0%)	(-0.1P)	(5.1%)	(+0.3P)	(4.6%)	(+0.1P)
経常利益	2,978	3,673	6,651	3,050	2.4%	4,150	13.0%	7,200	8.2%
(売上高比)	(4.1%)	(4.7%)	(4.4%)	(4.0%)	(-0.1P)	(5.1%)	(+0.4P)	(4.5%)	(+0.1P)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,001	2,327	4,328	2,010	0.4%	2,740	17.7%	4,750	9.7%
(売上高比)	(2.7%)	(3.0%)	(2.9%)	(2.6%)	(-0.1P)	(3.3%)	(+0.3P)	(3.0%)	(+0.1P)

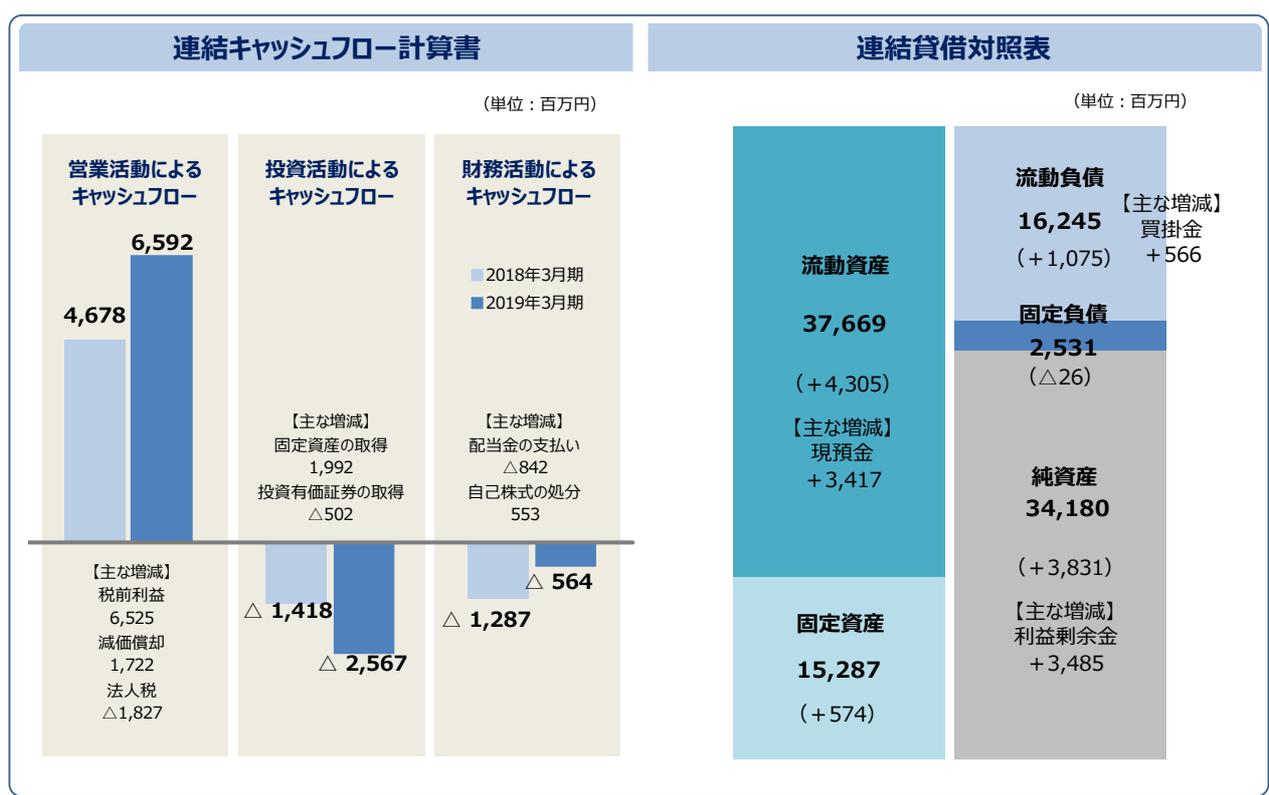
2020年3月期 通期計画 事業セグメント別

(単位：百万円)

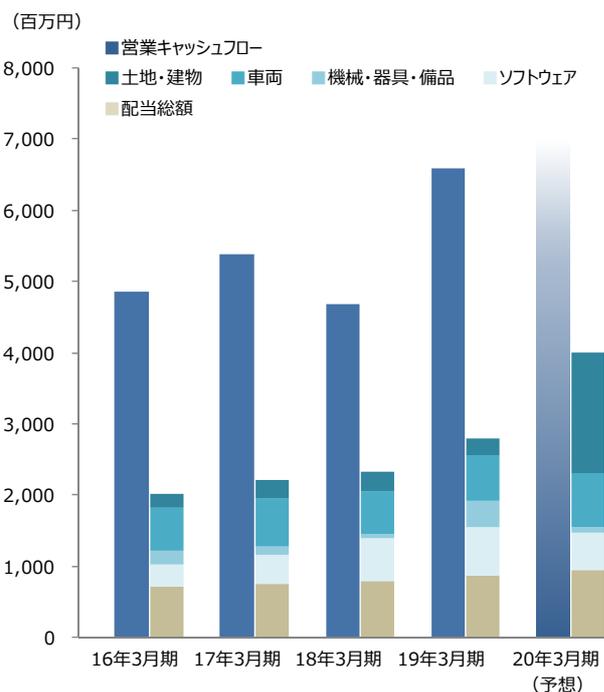
		2019年3月期			2020年3月期(予想)					
		上半期	下半期	通期	上半期	前期比	下半期	前期比	通期	前期比
ロジスティクス マネジメント事業	売上高	24,893	26,224	51,118	25,740	3.4%	26,460	0.9%	52,200	2.1%
	営業利益 (売上高比)	1,334 (5.4%)	1,699 (6.5%)	3,033 (5.9%)	1,390 (5.4%)	4.2% (+0.0P)	1,960 (7.4%)	15.4% (+0.9P)	3,350 (6.4%)	10.4% (+0.5P)
物流情報 サービス事業	売上高	40,493	43,257	83,750	43,230	6.8%	46,770	8.1%	90,000	7.5%
	営業利益 (売上高比)	1,530 (3.8%)	1,781 (4.1%)	3,312 (4.0%)	1,500 (3.5%)	-2.0% (-0.3P)	1,890 (4.0%)	6.1% (-0.1P)	3,390 (3.8%)	2.4% (-0.2P)
インダストリアル サポート事業	売上高	3,767	3,920	7,687	3,480	-7.6%	3,880	-1.0%	7,360	-4.3%
	営業利益 (売上高比)	-3 (-0.1%)	145 (3.7%)	141 (1.8%)	70 (2.0%)	- (+2.1P)	150 (3.9%)	3.4% (+0.2P)	220 (3.0%)	55.4% (+1.2P)
その他	売上高	4,781	5,124	9,906	4,840	1.2%	5,750	12.2%	10,590	6.9%
	営業利益 (売上高比)	179 (3.7%)	209 (4.1%)	388 (3.9%)	140 (2.9%)	-21.8% (-0.8P)	210 (3.7%)	0.3% (-0.4P)	350 (3.3%)	-9.9% (-0.6P)
連結消去	売上高	-590	-759	-1,350	-600	-	-700	-	-1,300	-
	営業利益 (売上高比)	-57 -	-84 -	-141 -	-20 -	- -	-20 -	- -	-40 -	- -
連結合計	売上高	73,345	77,766	151,111	76,690	4.6%	82,160	5.6%	158,850	5.1%
	営業利益 (売上高比)	2,983 (4.1%)	3,750 (4.8%)	6,733 (4.5%)	3,080 (4.0%)	3.2% (-0.1P)	4,190 (5.1%)	11.7% (+0.3P)	7,270 (4.6%)	8.0% (+0.1P)

1	2019年3月期 総括	P.3
2	2020年3月期 計画	P.12
3	財政状況及び還元方針	P.15
4	次期中期計画に向けて事業の方向性	P.18

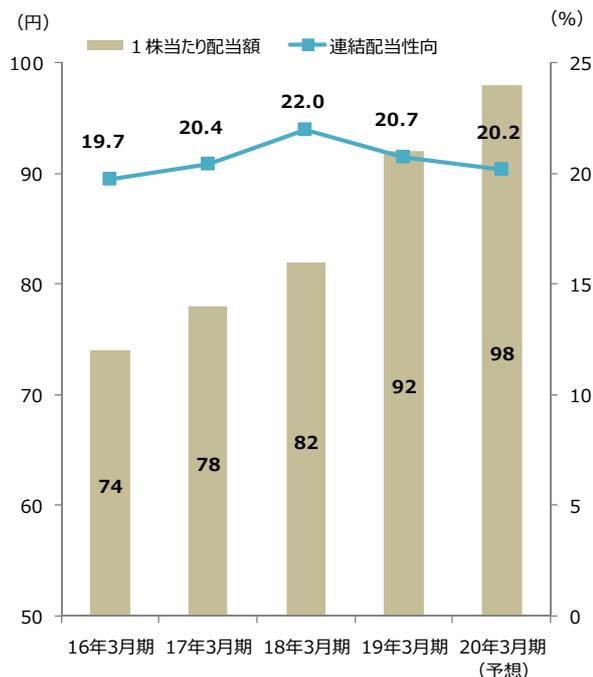
キャッシュフロー及び財政状況



営業キャッシュフローおよび設備投資・配当総額



配当金の推移



- 1 2019年3月期 総括 P.3

- 2 2020年3月期 計画 P.12

- 3 財政状況及び還元方針 P.15

- 4 次期中期計画に向けて事業の方向性 P.18

TRANCOMグループの事業大方針

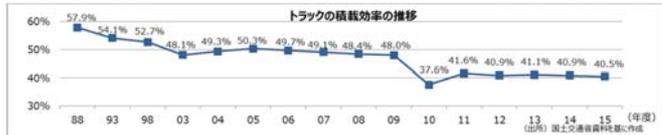
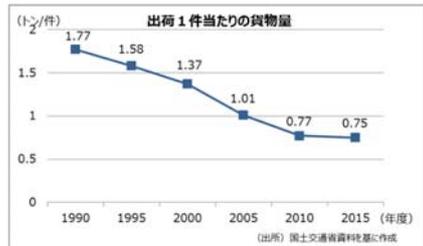
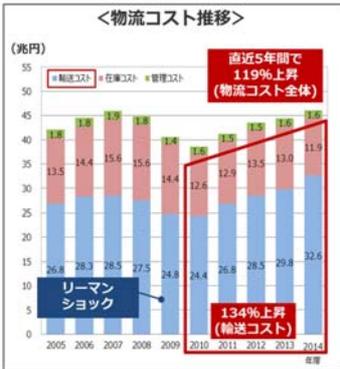
幹線輸送プラットフォームの確立

～物流情報を軸とした幹線ネットワークの構築～

- 物流業界を取り巻く環境**

 - 輸送コスト、人件費の上昇 …… コストアップ
 - トラックドライバーの高齢化、なり手不足 …… 車両不足
 - 貨物輸送の小口化、多頻度化 …… 輸配送効率の悪化
 - デジタル化の進展

輸送能力の拡大
サービスの拡充・付加価値の提供



幹線輸送基盤を磐石にし、社会的存在意義を高める

TRANCOMグループの事業大方針

幹線輸送プラットフォームの確立

～物流情報を軸とした幹線ネットワークの構築～



■ 幹線輸送とは
…物流拠点間、製造拠点から物流拠点など
中長距離を大量輸送機関で運ぶこと

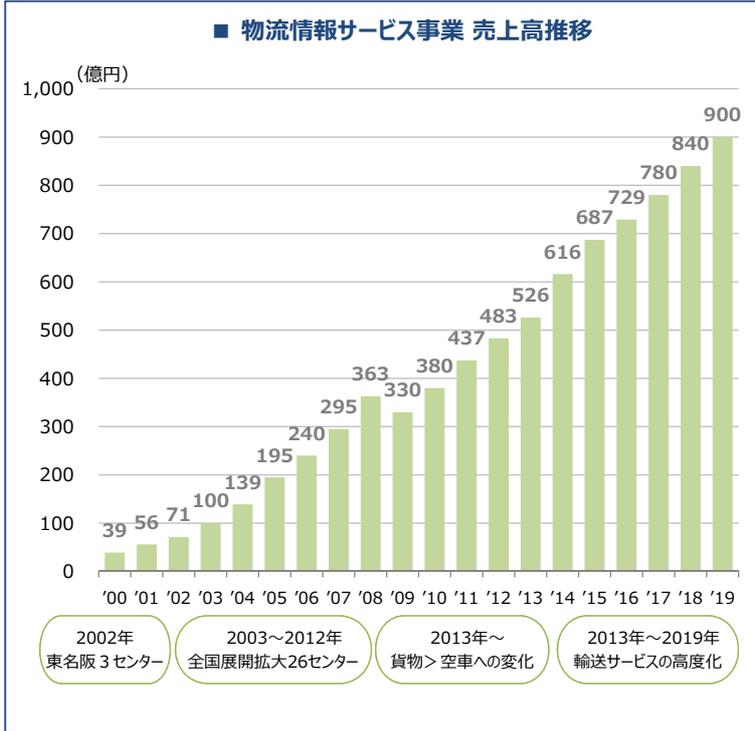
■ 幹線輸送市場

営業用 貨物自動車	台数
①日本国内貨物車両台数	810,443台
②幹線車両台数（約20%）	約162,000台
③物流情報のマッチング台数	6,000台



①出所 一般財団法人 自動車検査登録情報協会
②当社調べ

※数値は、2018年度



成約件数
約**6,000** 件/日
1,350,000 件/年

情報センター拠点 **アジャスター数**
35 拠点 **約700** 人

パートナー企業
13,000 社

潜在的な空車情報台数
200,000 台以上

トランコムグループの事業大方針

幹線輸送プラットフォームの確立

～物流情報を軸にした幹線ネットワークの構築～



本資料及び I R 関係のお問い合わせにつきましては、
下記までお願いいたします。

TRANCOM 株式会社
YOUR LOGISTICS COLLABORATOR

M A I L : ir_info@trancom.co.jp
TEL.052-939-2011 FAX.052-939-2015
www.trancom.co.jp



経営企画グループ

T E L : 052-939-2023 F A X : 052-939-2015

※ 本資料には、作成時点における情報を基に予測した事業の将来見通しなどが含まれております。
将来における変動要素やリスク要因などにより、異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

TRANCOM

Copyright(c)/2019 TRANCOM CO.,LTD.All Rights Reserved.